

都市に隣接しながらも、多くの川と自然に囲まれた河辺町。自治体における社会生涯教育推進がまちづくり手法として定着した中、町内の人材を活用した講演会や技術指導等をサポートするため、町が指導者となる住民を登録しています。

社会教育充実のための町独自版「人材バンク」（河辺町）

社会教育の推進と

有能な人材の発掘

県都秋田市に隣接し、本県のほぼ真ん中に位置する秋田の「へそ」、河辺町。太平洋東麓に端を発する雄物川水系の支流・岩見川が貫流しており、町はそれに沿うように南西へと伸びる細長い地勢を呈しています。自然の多いこの町には趣味やレクリエーション、自然観察などを目的に、都市部などから多くの人々が憩いを求めて集まっています。

こうした恵まれた住環境のもと、町ではこれまで教育委員会を中心に住民の社会教育や生涯学習を支援してきましたが、さらにこうした活動を推進する一環として、住民相互が内発的に学習し合える構想を思案しました。住民それぞれが持つ、多岐にわたる分

野で蓄積された技能や知識を講義や技術指導により活用するため、4年ほど前から町内在住の人材を発掘・集約し始めました。

より身近な指導者により、地域に密着した、内容の濃い継続した各種活動が可能となるほか、活動自体の継続・伝承や後継指導者の育成、町民相互のコミュニケーション機会の増加、また、講演・指導にかかるコストなども町外指導者に比べ大幅に縮小できるなど、数多くのメリットが考えられます。

作業は、各分野で指導を行える人材を、人つてや各種団体、町役場各課などに依頼して教えてもらい、少しずつ登録者数を蓄積していく、時間

町内在住の各分野でのエキスパートを集めた、町教育委員会オリジナルの冊子。今後とも随時更新されるとのこと。





8分野・39項目、延べ169名に及び登録者が
ずらりと並ぶ名簿の掲載面。

指導内容及び分類別人数

分類	指導内容	人数
教育一般	生涯学習一般/乳幼児教育・育児/青少年教育/高齢者教育	17
人文・社会科学	宗教・人生哲学/政治・経済・時事問題/郷土史・文化財に関すること	13
自然科学	医学	3
産業・技術	農・林・畜産/商業・経営・簿記・珠算/コンピュータ・ワープロ	9
芸術・文化	美術・工芸/書道/音楽・芸能/舞踊・民踊/写真・ビデオ/文学・文芸/茶道・華道	26
体育・スポーツ・レクリエーション	体育・スポーツ・レクリエーション一般/陸上競技/球技/武道・格技/水泳/スキー/登山・野外活動/レクリエーション・体力づくり	61
家庭生活・趣味	家庭医学・救急救命/衣生活・着付け・ファッション/食生活・料理/礼儀・作法/手芸/娯楽/園芸・フラワーアレンジ	32
市民生活・国際関係	市民生活/地域づくり/ボランティア/公衆・食品衛生・ゴミ・リサイクル/語学・日本語指導/福祉	8

(人数は延べ)

をかけた地味なもの。これまで1度、登録者名簿を作成しましたが、登録者数の少なさを

多様な分野にわたる
町内在任の講師候補

昨年12月に完成した「河辺町人材バンク登録者名簿」には、講師・指導者として町内の169名が登録されました。各分野は教育や社会、産業、芸術・文化、スポーツ、趣味など8つに区分され、細目はさらに39種類にも及びます。その中には、福祉や乳幼児教育、政治経済、農業経営、絵画、舞踊、各種スポーツ、山

もあり、住民に対するPRはほとんど行われず、実質的に活用されませんでした。

岳、救急救命、園芸、ボランティアなど、師範や有資格者、現職なども指導者に含まれる本格的な指導内容も数多くあります。冊子をひと目見て、ひとつの町にこれだけの知識・技能を持つ人材が潜在していることに驚かされます。登録者名簿は各町内会の会長や会館、学校、公的施設、町内の主だった団体等に配

布・設置され、町民は必要に応じていつでも目を通すことができます。

講師要請の手続きは、冊子の末尾にある申請書を利用し、町教育委員会に提出することになっていきます。申請を受けた教育委員会は、要請された登録者と連絡をとり、指導受諾の可否を申請者に返答します。また、同時に派遣に伴う費用(講師料)に対する助成措置も行い、申請者の負担を軽減することで、活動を促進します。こうした流れにより、事務側も各講師の派遣実績を掌握できる仕組みです。

住民の学習機会充実と
地域の活性化に向けて

町教育委員会では、町内会長・公民館長等の研修会で名簿の利用方法を説明。時期的にも現在はまた講師派遣の申請はないものの、問い合わせなどの反応もあり、各団体から多方面にわたり派遣要請があるものと見込んでいるそうです。「地元の講師だと身近すぎて遠慮するケースもあるかもしれないが、逆に馴染めば気軽に付き合うことも出来る。これだけの選択肢がある

のだから、住民もどんどん活用してくれば」と、今回の制度に期待を寄せています。町教育委員会が開催してきた社会教育講座等の現場からも、指導者になれる方が増えてきていると言います。この小さな「人材バンク」の取り組みは、社会教育をより身近なものにし、住民の元氣なまちづくりを推進する、地域活性化へのきっかけとなるかも知れません。



人材バンク登録者名簿を備え付けた町内会館(新栄町)